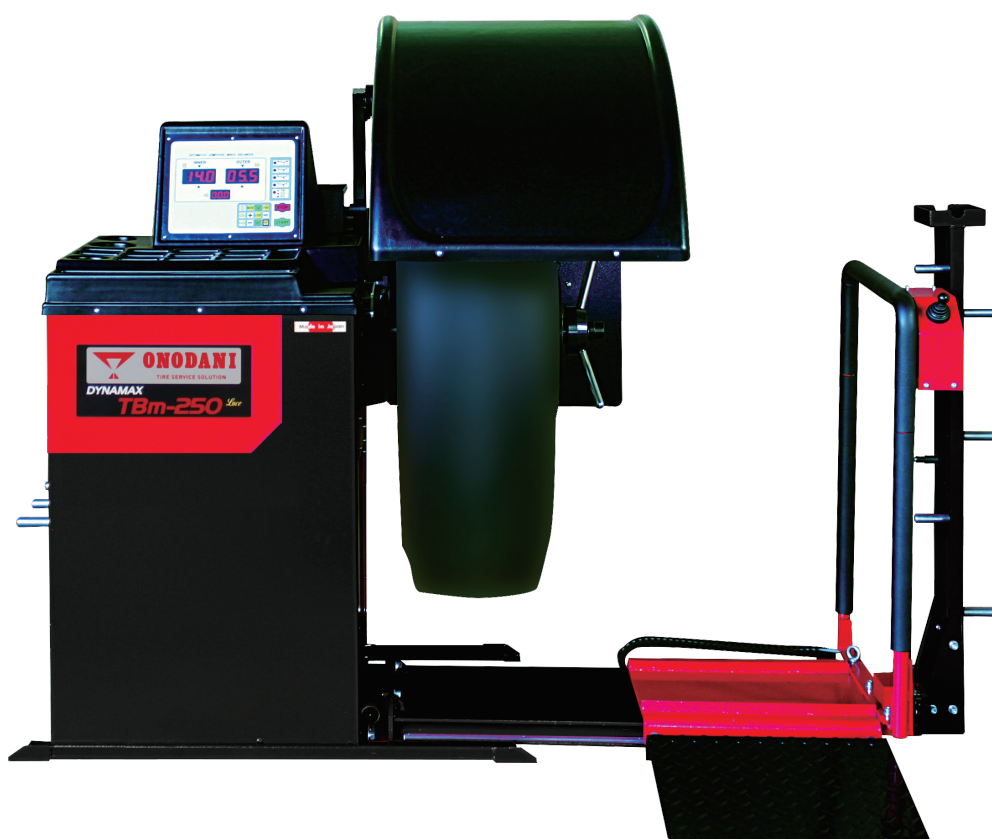


取 扱 説 明 書

TB-LT-PC COMPUTER WHEEL BALANCER

TBm-250



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。



警 告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用出来るよう大切に保管してください。



ONODANI

TIRE SERVICE SOLUTION

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1) 警告ラベル貼付位置・内容	3
(2) 危険・注意事項	5
(3) 一般的な注意事項	6
(4) 設置上の注意	6
4. 各部の名称	7
(1) 本体部の名称	7
(2) 操作部の名称	8
5. 操作手順	9
(1) リフト操作について	9
(2) T Bホイールについて	9
(3) ホイールの装着手順	10
(4) 測定モードの切り替え	13
(5) データーの i n c h ・ c m について	14
(6) データーの入力方法	15
(7) 測定	18
(8) 再演算機能	20
(9) 表示の切り替え	20
(10) ロック解除の方法	20
(11) F I N E モード	20
(12) アダプターキャンセル機能	20
(13) クローズスタート仕様	20
(14) インターロック仕様	20
6. 標準付属品	21
7. 定期点検	22
(1) 定期点検	22
(2) 消耗品	22
8. 故障と処置	22
9. 仕様・本体寸法	26
10. 製品保証規定	27
(1) 保証規定	27
(2) 保証請求方法	27
(3) アフターサービスについて	28
(4) 設置（据付）及び移設について	28

1. まえがき

この度は弊社の「ホイール balanser」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用ください。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機の能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので充分なご理解のうえ正しくご使用ください。

尚、取扱説明書・注意ステッカー等は大切に ご使用して頂き万一紛失・汚損された場合は、速やかに購入のうえ、正しく保管・貼付してください。

2. 使用目的

このホイール balanser は大型バス・トラックのホイールバランスを測定、修正することの出来るホイール balanser です。

尚、オプション部品を取り付けることによって、ライトトラック・普通乗用車のホイールバランスの測定、修正が可能です。

3. 危険・警告・注意事項



警 告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用ください。



危 険……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警 告……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



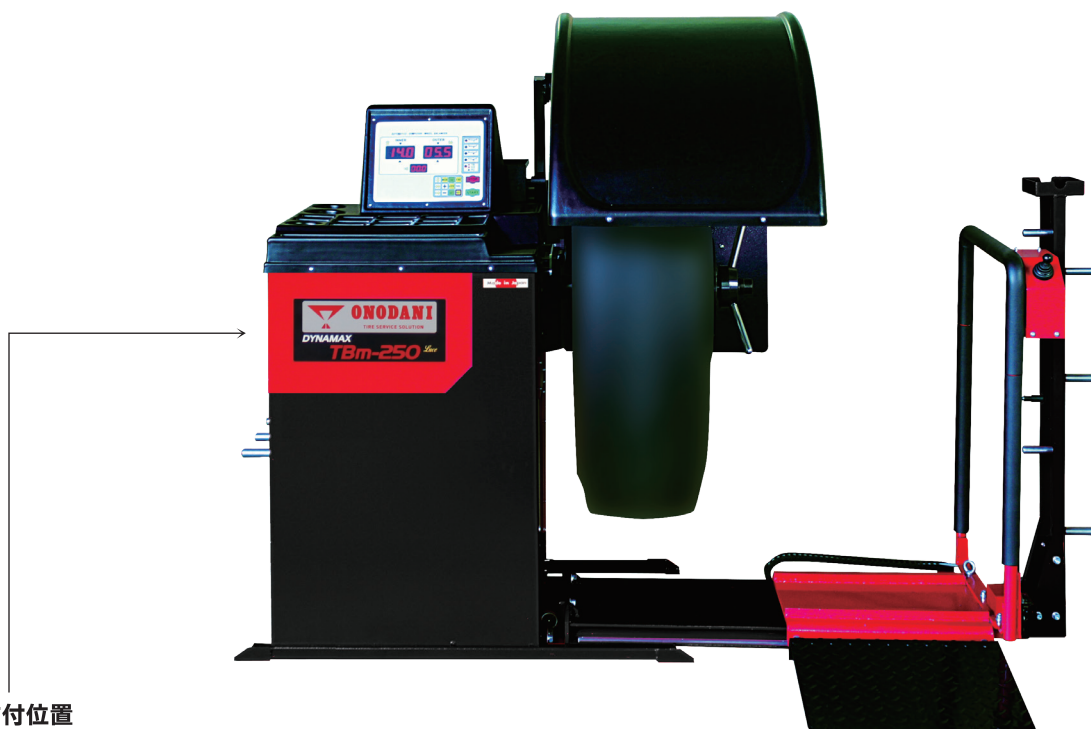
注 意……取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合。及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1)警告ラベルの貼付位置・内容



注 意

警告ラベルは大切に使用してください。万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく貼付してください。

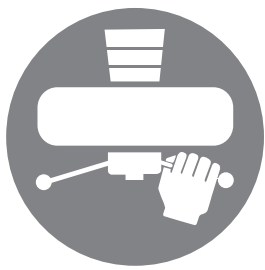


警告ラベル貼付位置

警 告		
		
回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないうこと。巻き込まれて怪我をする可能性があります。	回転中は、ホイールガードを開けないこと。小石、ウエイトなどが飛んで、怪我をする可能性があります。	取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。誤操作により、思わぬ事故の可能性がります。
		ここに示される警告事項は、バルンサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事項です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。
ホイールはゆるまないよう確実に取り付けようこと。回転中に外れ飛び出す恐れがあります。	ホイールの回転面に立たないこと。小石、ウエイトなどが飛んで、怪我をする可能性があります。	
巻き込まれ防止のため、タイヤカバーを必ず設置し取り外さないで下さい。		

警告ラベル内容

※下記警告ラベルが本体に貼付されています

警告		
		
回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。巻き込まれて怪我をする可能性があります。	回転中は、ホイールガードを開けないこと。小石、ウェイトなどが飛んで、怪我をする可能性があります。	取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。誤操作により、思わぬ事故の可能性もあります。
		ここに示される警告事項は、バルンサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事項です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。
ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。回転中に外れ飛び出す恐れがあります。	ホイールの回転面に立たないこと。小石、ウェイトなどが飛んで、怪我をする可能性があります。	
巻き込まれ防止のため、タイヤカバーを必ず設置し取り外さないで下さい。		

(2)危険・注意事項



注 意

- (1)操作に当たっては作業服、安全靴を身につけ安全な作業を行ってください。
- (2)回転中に振動や異常音、変形回転が発生したら、ホイールガードを開けずにストップスイッチを押し、直ちに停止させてください。
- (3)センター軸が緩んでくるとホイールのセンターリングが不完全となり誤差の原因となります。時々確認してください。
- (4)ウエイトはしっかりと指定場所に取り付けてください。
- (5)タイヤについているゴミ、小石等は全て取り除いてください。
- (6)スタートスイッチを押す前に、必ずホイールガードをセットしてください。
- (7)落雷時には電源を必ず切ってください。異常電圧の発生で本体内部の電子部品を壊す恐れがあります。
- (8)本機を清掃する場合は、水洗いを絶対にしないでください。
- (9)本機を移動する場合は、主軸を持って移動したり主軸に衝撃を与えないでください。



危 険

電気部品に触れる必要の場合は必ず元電源を切ってください。元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には端子等、通電部品に絶対触れないようにしてください。
※死亡又は重傷の可能性あります。



(3)一般的な注意事項

- ①取扱説明書をよく読みよく理解してから使用してください。
- ②このホイールバランサーは使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検及び定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- ④運転時に異常な状態の時は、ホイールバランサーの使用を禁止して電源を切り、お買い上げの販売店に連絡してください。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので、屋外設置や水による洗浄は避けてください。
- ⑥このホイールバランサーはタイヤ・ホイールのバランス測定以外には使用しないでください。

(4)設置上の注意

- ①本機の据付は平坦なコンクリート上に標準付属品のアンカーボルトでしっかりと固定して使用してください。アンカーボルトでの固定を怠ると本機の転倒防止としては勿論のこと、タイヤのアンバランス以外の振動をキャッチすることになり、正確な測定結果が得られません。
- ②本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けてください。
 - ・雨水のかかる場所
 - ・水をよく使い湿気の多い場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・特にほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- ③本機を移動する場合は主軸を持って移動したり、主軸に衝撃を与えないでください。
- ④設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施してください。
尚、ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないでください。
- ⑤本機の回転方向はウエイトカバーの矢印方向にしてください。
- ⑥本機を吊り上げる為の吊りフックが、本体フレームのリフト可動面に取り付けてあります。設置が終了したら、必ず吊りフックを固定しているボルト外し、吊りフックを取り外してください。吊りフックは移設等の際に必要ですので大事に保管してください。

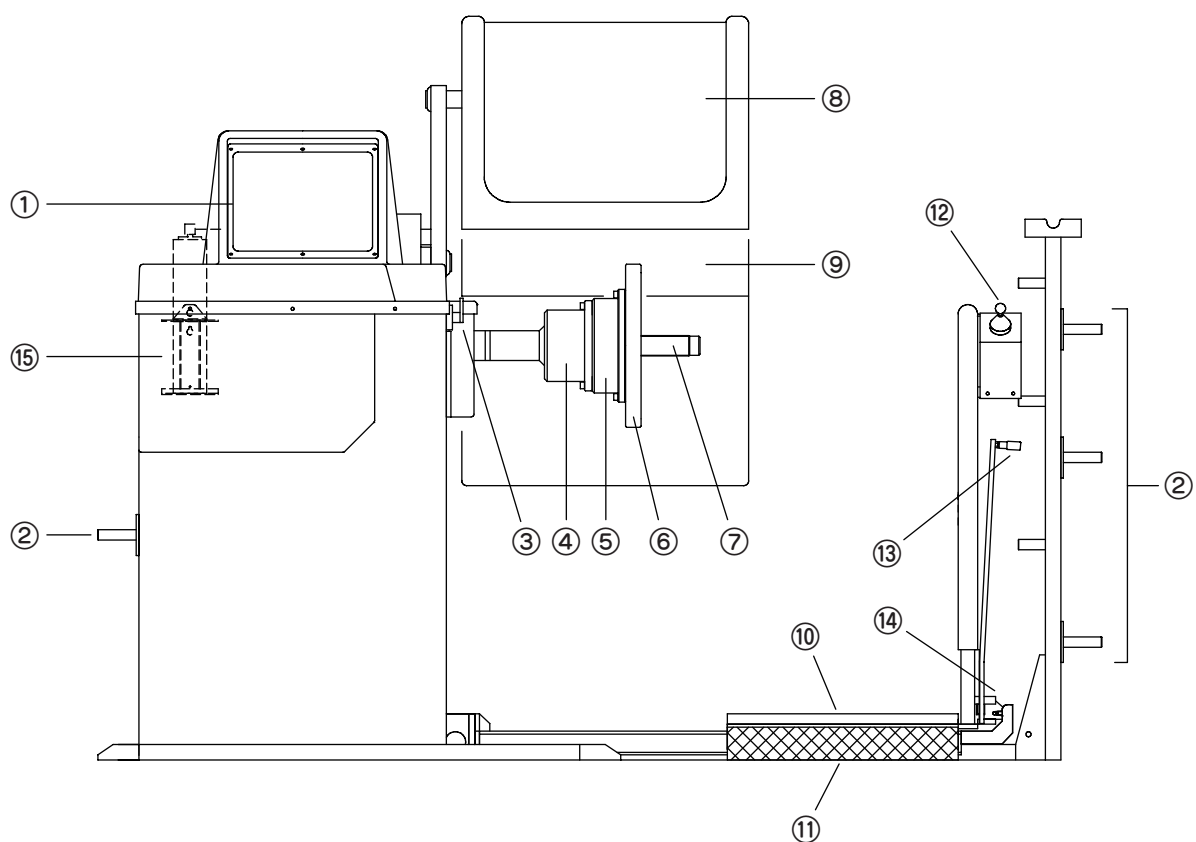


注 意

吊りフックを外さずにリフトを上昇させると、リフト可動部が吊りフックに干渉しリフトが故障する場合があります。

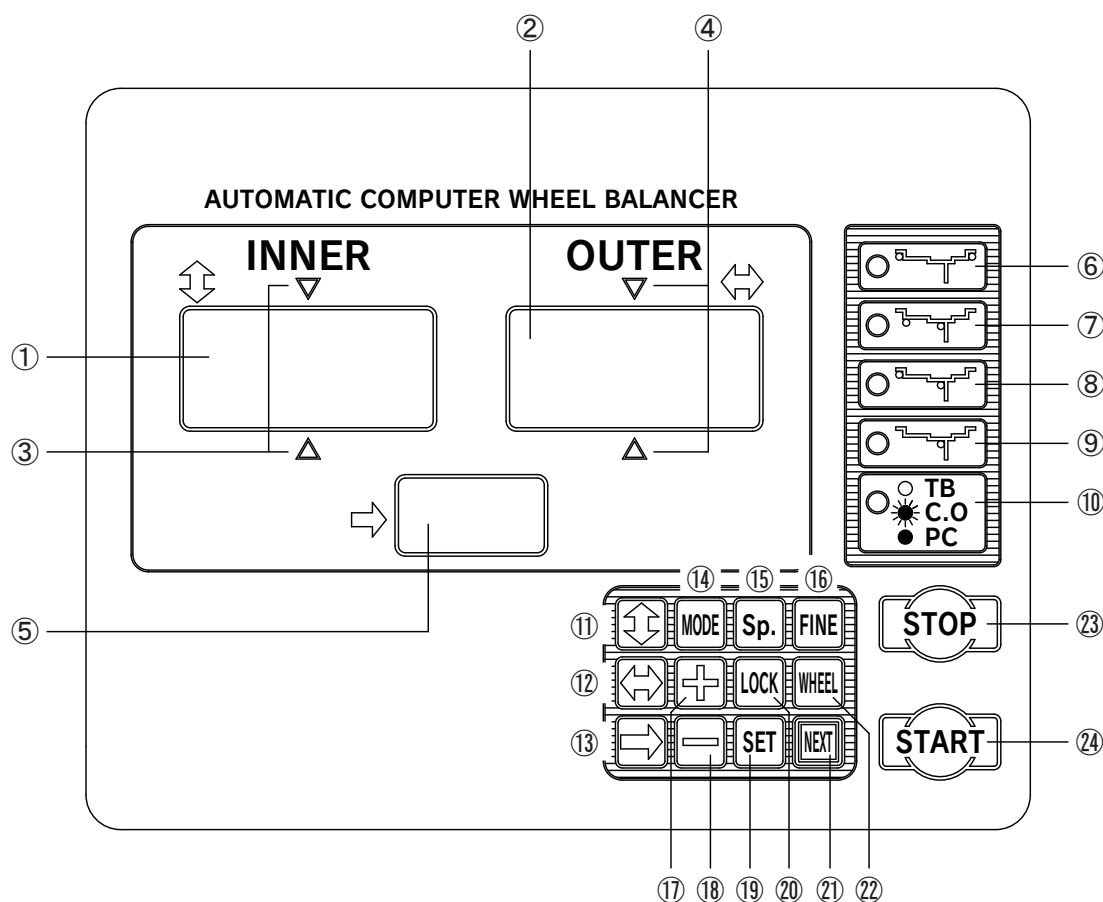
4. 各部の名称

(1) 各部の名称



- ① 表示パネル
 - ② パーツハンガー
 - ③ ディスタンススケール
 - ④ 主軸
 - ⑤ LTスペーサー
 - ⑥ TBスペーサー
 - ⑦ センター軸
 - ⑧ ホイールガード
 - ⑨ バックマッドガード
 - ⑩ タイヤ台
 - ⑪ シューター
 - ⑫ リフト操作スイッチ
 - ⑬ ロック解除レバー
 - ⑭ タイヤ台ロック
 - ⑮ 缶ホルダー(※OP)
- (OPはオプションの略)

(2) 操作部の名称



- | | |
|-------------------|----------------|
| ① イン側グラム表示・リム径表示 | ⑬ ディスタンス入力スイッチ |
| ② アウト側グラム表示・リム幅表示 | ⑭ モードスイッチ |
| ③ イン側ポジション表示 | ⑮ Spスイッチ |
| ④ アウト側ポジション表示 | ⑯ ファインスイッチ |
| ⑤ ディスタンス表示 | ⑰ アップスイッチ |
| ⑥ 両面打ち込みモード | ⑱ ダウンスイッチ |
| ⑦ アルミ貼付－貼付モード | ⑲ セットスイッチ |
| ⑧ アルミ打込－貼付モード | ⑳ ロックスイッチ |
| ⑨ スタチックモード | ㉑ ネクストスイッチ |
| ⑩ ホイールモード | ㉒ ホイール切替スイッチ |
| ⑪ リム径入力スイッチ | ㉓ ストップスイッチ |
| ⑫ リム幅入力スイッチ | ㉔ スタートスイッチ |

5. 操作手順

(1) リフト操作について

タイヤ台を一番右側へスライドさせ、タイヤ台のスライドをロックさせます。

リフト操作スイッチでタイヤ台を下降させます。

最下位の位置で自動的に停止します。

タイヤを投入しタイヤ台に載せ、リフト操作スイッチで上昇させます。

ロック解除レバーを手前に引くことで、タイヤ台のスライドロックが解除されます。

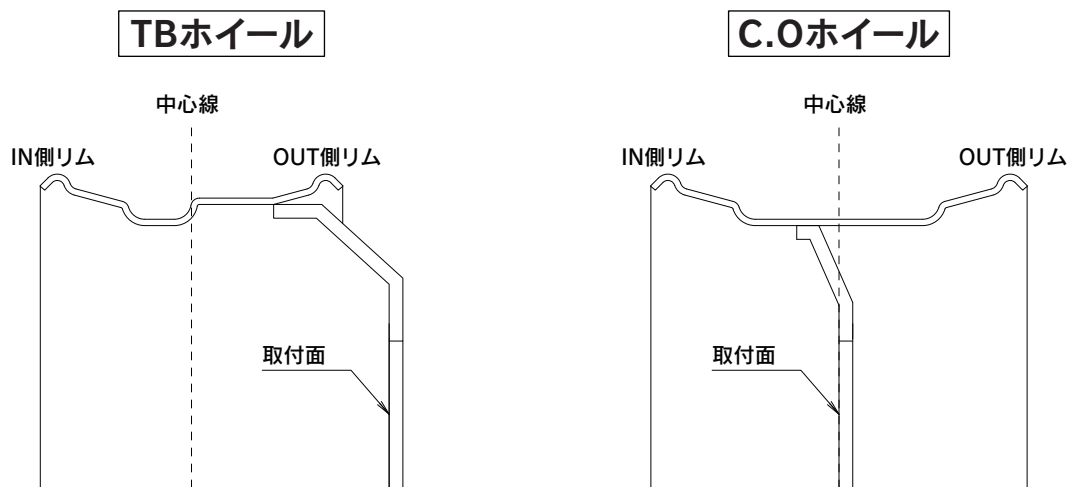
バランスを測定する時には、必ずタイヤ台のスライドをロックしてください。

(2) TBホイールについて

本機のホイールバランサーは、TBホイールの10穴ホールでは下図のように「TBホイール」と「C.Oホイール」で測定モードと取付方法が異なります。

TBホイール・・・取付面がOUT側リムより外側にある形状のタイプ
(主なリム幅サイズ: 7.50 / 8.25 / 9.00)

C.Oホイール・・・取付面がIN側リムとOUT側リムの間にある形状のタイプ
(主なリム幅サイズ: 11.75 / 14.00)
(C.Oとはセンターオフセットの略語)



(3)ホイールの装着手順



注 意

測定ホイールはいずれの場合も、古いバランスウェイト、タイヤの溝にはさまっている小石や異物を全て取り除いてください。

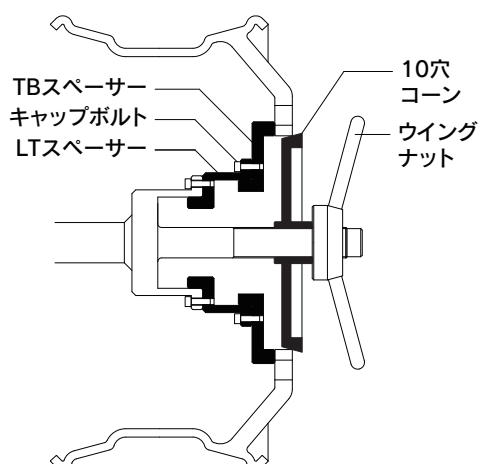
ハメ合い部とあたり面はゴミ・砂などが付着していないことを確認したあと、次のように正しく取り付けてください。

(A) 10穴TBホイールの場合

主軸にLTスペーサーをキャップボルトで固定します。

LTスペーサーにTBスペーサーをキャップボルトで固定します。

測定する10穴TBホイールを10穴コーンとウイングナットで固定します。

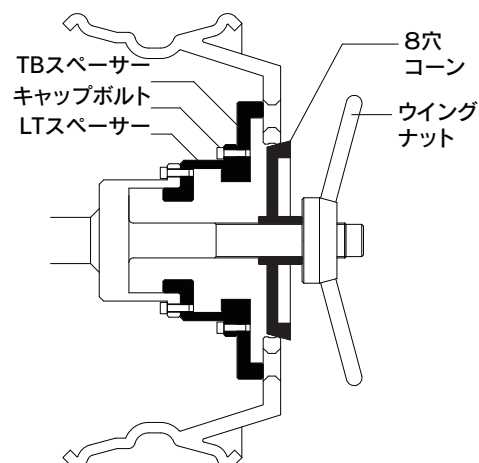


(B) 8穴ホイールの場合

主軸にLTスペーサーをキャップボルトで固定します。

LTスペーサーにTBスペーサーをキャップボルトで固定します。

測定する8穴ホイールを8穴コーンとウイングナットで固定します。



注 意

10穴TBホイールと8穴ホイールを装着する場合は、必ずウイングナットで固定してください。

ワンタッチナットで固定すると、回転中ナットが緩む恐れがありますので、ワンタッチナットは使用しないでください。

(C) 10穴C.Oホイールの場合

【スチールホイールの場合】

主軸にCOスペーサーをキャップボルトで固定します。

測定する10穴C.Oホイールを10穴コーンとウイングナットで固定します。

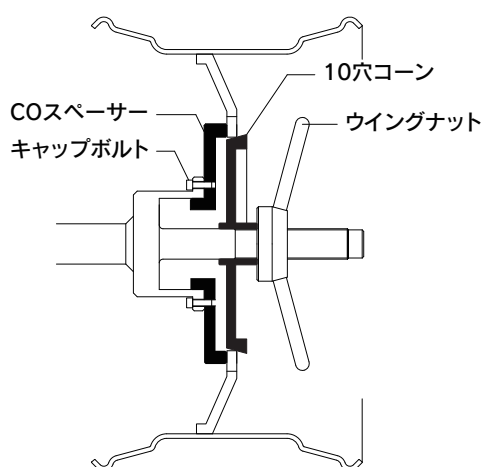
【アルミホイールの場合】

主軸に10穴フランジをキャップボルトで固定します。

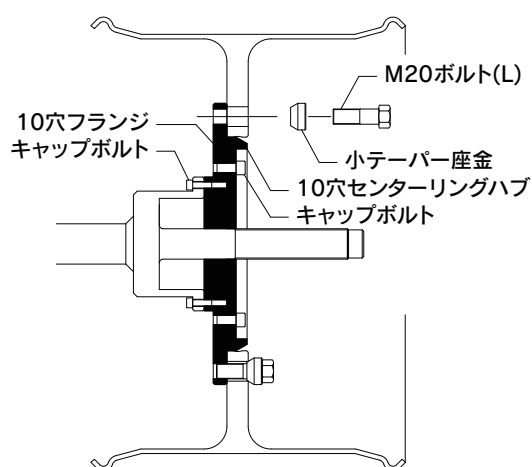
10穴フランジに10穴センターリングハブをキャップボルトで固定します。

測定する10穴C.OホイールのPCDボルト穴に、M20ボルト(L)に小テーパー座金をはめ込み5本で固定します。

【スチールホイールの場合】



【アルミホイールの場合】



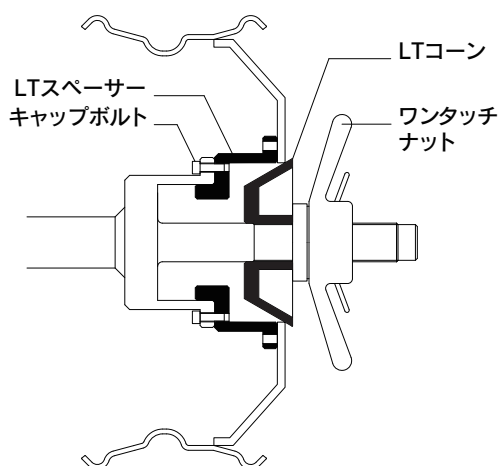
注 意

10穴C.Oホイールを装着する場合は、必ずウイングナットで固定してください。
ワンタッチナットで固定すると、回転中ナットが緩む恐れがありますので、ワンタッチナットは使用しないでください。

(D) LTホイールの場合

主軸にLTスペーサーをキャップボルトで固定します。

測定するLTホイールをLTコーンとワンタッチナットで固定します。



(E)PCホイールの場合

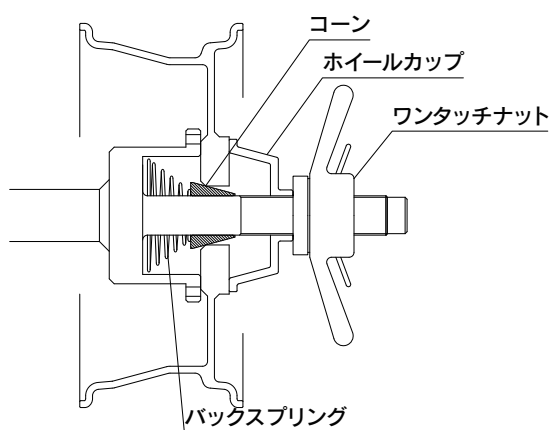
(1)バックコーンとして使用する場合

図①のようにセンター軸にバックスプリングとホイールのハブ穴に合ったコーンを入れホイールをコーンの上にのせます。次にホイールカップとカラーをはめ、ワンタッチナットで締めつけます。この時コーンが奥まで入り込むような場合はバックコーンとスプリングの間に、一番短いカラーを入れて使用してください。(バネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にします)

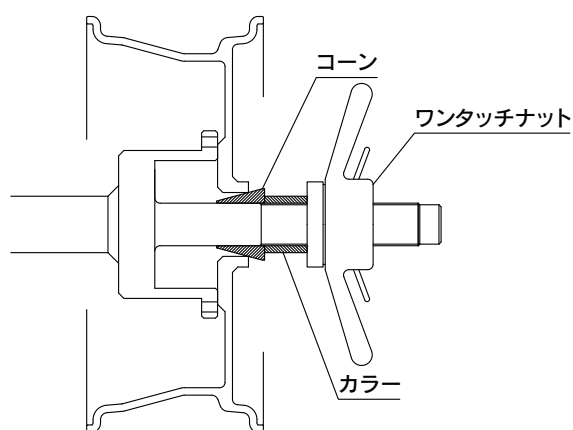
(2)フロントコーンとして使用する場合

図②のようにハブ穴に適したコーンと、カラーを用いてワンタッチナットでホイールを締めつけます。

【①バックコーンの場合】



【②フロントコーンの場合】



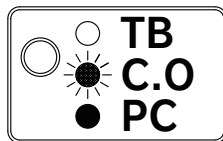
注 意

ワンタッチナットを緩めてホイールを外すときは必ず最初に少しワンタッチナットを緩めてからレバーを握って外してください。

緩めなくてレバーを握るとワンタッチナット・センター軸を損傷させる恐れがあります。

(4)測定モードの切り替え

(4)-1. ホイールモードの切り替え



スイッチを押すと、①－②－③－①の順にホイールモードが切り替わり、ランプの表示状態も切り替わります。

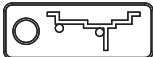
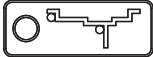
LTホイールはPCモードを選択します。

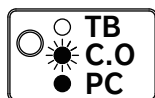
- ① ○ **TB** → TBモード → ランプ点灯
- ② ☀ **C.O** → C.Oモード → ランプ点滅
- ③ ● **PC** → PCモード → ランプ消灯

(4)-2. 測定モードの切り替え



スイッチを押すと①－②－③－④－①の順にバランス測定モードが選択されます。

- ①  両面打込モード
- ②  アルミ貼付－貼付モード
- ③  アルミ打込－貼付モード
- ④  スタチックモード



ホールモード



注 意

TB&C.OモードとPCモードでは測定回転数が異なります。ホイールに応じたモードを選択しなければ、正確なバランス測定は行えません。

(5) データの inch・cm について

この機種はinch・cmの表示がありませんので、下記のことにご注意ください。

-  全てのモードで
自動入力の場合【cm】表示
手動入力の場合【inch】表示
-  両面打込モードの場合【inch】表示
貼付モードの場合【cm】表示
-  全てのモードで【cm】表示

データの入力には  または  スイッチを押してください。

リム径とリム幅は0.5インチずつ増減します。ディスタンスは1mmずつ増減します。

 スイッチを押すとデータは確定します。

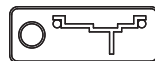
(6) データの入力方法

測定するホイールに応じたホイールモードを  スイッチを押して切り替えます。

データの入力方法はTB/C.O/PCの各ホイールモードでも同じ入力方法となります。

A. 両面打込の場合

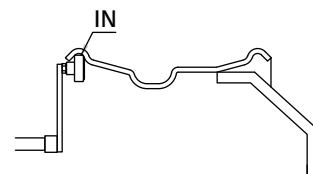
測定モードを両面打込にしてください。



A-1. ディスタンス・リム径の自動入力の場合

スケールのヘッドを内側のIN側打ち込み位置に当てます。
ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。
なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセッ
トされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻して
から再度入力をやり直してください。(約1秒間停止しているとセッ
トされます)

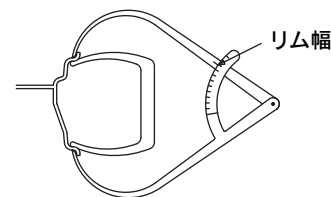
入力後、スケールは確実に元に戻してください。戻ってなければ
表示部に【E-E】と表示してスタートしません。



リム幅の入力

タイヤパスを図のように、イン・アウト両側のリムに当て
ゲージの幅を読みとり、 スイッチを押して読み取った
値を入力します。

(例えばリム幅が4.5Jならば  4 5  と押し
てください)



A-2. 手動入力の場合

1. リム径の入力

 スイッチを押して、ホイールに明記されているサイズを手動で入力します。

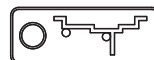
2. ディスタンスの入力

スケールのヘッドからIN側打ち込み位置までを定規で測定し、 スイッチを押して定規
で測った値をmmで入力してください。

(例えばディスタンスが105mmならば  1 0 5  と押し
てください)

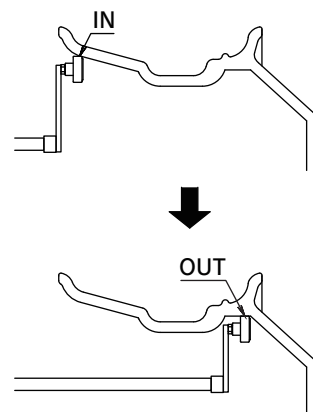
B. アルミの貼付－貼付の場合

測定モードをアルミ貼付－貼付にしてください。



B-1. スケール自動入力の場合

スケールのヘッドを内側のIN側貼付け位置の中心に当てます。ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻し STOP ボタンを押してから再度入力をやり直してください。(約1秒間停止しているとセットされます) IN側にセットされたら、次にそのままOUT側の貼付け位置の中心にスケールを伸ばし、ヘッドの中心を当て修正面幅を入力させます。



入力後、スケールは確実に元に戻してください。戻ってなければ表示部に【E-E】と表示してスタートしません。

OUT側ホイールの内径が小さくスケールが伸ばせない場合は手動入力を入力してください。



注 意

ホイールが深くスケールがOUT側入力位置まで十分に届かない時は、届くところまでスケールを引き出し、入力後スケールを戻し、修正面幅を定規で測り、スイッチを押して定規で測った値をcmで入力してください。

(例えば修正面幅が14.5cmならば  1 4 5  と押してください)

B-2. 手動入力の場合

1. リム径の入力

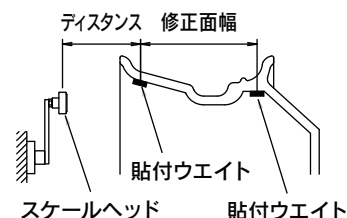
スイッチを押して、ホイールに明記されているサイズを手動で入力します。

2. 修正面幅の入力

図のようにIN側のウエイト貼付け位置からOUT側のウエイト貼付け位置までの修正面幅を定規で測定し スイッチを押して定規で測った値をcmで入力してください。

(例えば修正面幅が14.5cmならば

 1 4 5  と押してください)



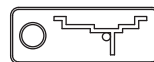
3. ディスタンスの入力

スケールのヘッドからIN側貼付け位置までを定規で測定し スイッチを押して定規で測った値をmmで入力してください。

(例えばディスタンスが105mmならば  1 0 5  と押してください)

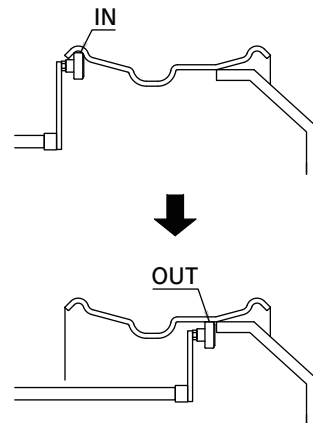
C. アルミの打込－貼付の場合

測定モードをアルミ打込－貼付にしてください。



C-1. スケール自動入力の場合

スケールのヘッドを内側のIN側打込み位置に当てます。
ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。
なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止すると
セットされてしまいますので、このような場合は一度スケール
を戻し **STOP** ボタンを押してから再度入力をやり直
してください。(約1秒間停止しているとセットされます)
IN側にセットされたら、次にそのままOUT側の貼付け位置
の中心にスケールを伸ばし、ヘッドの中心を当て修正面幅
を入力させます。
入力後、スケールは確実に元に戻してください。戻ってなけ
れば表示部に【E-E】と表示してスタートしません。
OUT側ホイールの内径が小さくスケールが伸ばせない場合
は手動入力を入力してください。



注 意

ホイールが深くスケールがOUT側入力位置まで十分に届かない時は、届くところ
までスケールを引き出し、入力後スケールを戻し、修正面幅を定規で測り、 ス
イッチを押し定規で測った値をcmで入力してください。

(例えば修正面幅が14.5cmならば  1 4 5  と押してください)

C-2. 手動入力の場合

1. リム径の入力

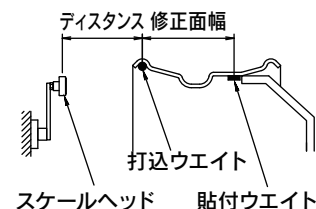
 スイッチを押して、ホイールに明記されているサイズを手動で入力します。

2. 修正面幅の入力

図のようにIN側のウエイト打ち込み位置からOUT側のウエ
イト貼付け位置までの修正面幅を定規で測定し  スイッ
チを押し、定規で測った値をcmで入力してください。

(例えば修正面幅が14.5cmならば

 1 4 5  と押してください)



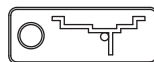
3. ディスタンスの入力

スケールのヘッドからIN側打ち込み位置までを定規で測定し  スイッチを押し定規
で測った値をmmで入力してください。

(例えばディスタンスが105mmならば  1 0 5  と押してください)

D. スタチックモードの場合

測定モードをスタチックにしてください。



取り付けるウエイトが打込ウエイトの場合は、**A. 両面打込の場合**と同じ入力方法でホイールデーターを入力してください。

取り付けるウエイトが貼付ウエイトの場合でも、**A. 両面打込の場合**と同じ入力方法でホイールデーターを入力してください。

(7) 測定

(7)－1. 標準仕様機

測定手順

- ①タイヤ・ホイールを固定します。
- ②測定モードを選択します。
- ③ホイールデーターを正しく入力します。
- ④STARTスイッチを2回続けて押すと、ホイールは回転します。測定が終わるとアンバランス量が表示されて自動停止します。

【TB/C.Oモードの場合】

- ⑤バランスを取る最初の側を選択します。ポジション表示の位置に従いホイールを手で回し、ウエイト取付位置にくるとグラムが点滅しブザーが鳴ります。
点滅位置でのホイールの真上(12時の位置)にウエイトを取り付けます。
- ⑥反対側も同様の作業を行います。

【PCモードの場合】

- ⑤自動的にIN側のアンバランスポイントにゆっくりと移動し、ブレーキがかかり停止します。
ホイールの真上(12時の位置)にウエイトを取り付けます。
- ⑥NEXTスイッチを押せば、OUT側のアンバランスポイントに自動的に移動し、ブレーキがかかり停止します。ホイールの真上(12時の位置)にウエイトを取り付けます。
再度NEXTスイッチを押せば、IN側のアンバランスポイントに移動します。
- ⑦両方のウエイトを取り付け終えたら、再度測定して000・000表示しGood表示をしたら終了です。

(7)－2. ラインレーザー搭載機（オプション仕様）

測定手順

- ①タイヤ・ホイールを固定します。
- ②測定モードを選択します。
- ③ホイールデーターを正しく入力します。
- ④STARTスイッチを2回続けて押すと、ホイールは回転します。測定が終わるとアンバランス量が表示されて自動停止します。

【TB/C.Oモードの場合】

- ⑤OUT側のアンバランス位置にウエイトを取り付ける場合、OUT側の位置インジケータに従いホイールを手で回し、ウエイト取付位置にくるとグラムが点滅します。

MODE が **アルミ貼付－貼付** **アルミ打込－貼付** の場合

ホイールの真下(6時の位置)にラインレーザーが照射されます。

ラインレーザーの位置にウエイトを取り付けます。

MODE が **両面打込** **スタチック** の場合

ホイールの真上(12時の位置)にウエイトを取り付けます。

- ⑥IN側のアンバランス位置にウエイトを取り付ける場合、IN側の位置インジケータに従いホイールを手で回し、ウエイト取付位置にくるとグラムが点滅します。

MODE が **アルミ貼付－貼付** の場合

ホイールの真下(6時の位置)にラインレーザーが照射されます。

ラインレーザーの位置にウエイトを取り付けます。

MODE が **アルミ打込－貼付** **両面打込** **スタチック** の場合

ホイールの真上(12時の位置)にウエイトを取り付けます。

【PCモードの場合】

- ⑤自動的にIN側のアンバランスポイントにゆっくりと移動し、ブレーキがかかり停止します。

MODE が **アルミ貼付－貼付** の場合

ホイールの真下(6時の位置)にラインレーザーが照射されます。

ラインレーザーの位置にウエイトを取り付けます。

MODE が **アルミ打込－貼付** **両面打込** **スタチック** の場合

ホイールの真上(12時の位置)にウエイトを取り付けます。

- ⑥NEXTスイッチを押せば、OUT側のアンバランスポイントに自動的に移動し、ブレーキがかかり停止します。

MODE が **アルミ貼付－貼付** **アルミ打込－貼付** の場合

ホイールの真下(6時の位置)にラインレーザーが照射されます。

ラインレーザーの位置にウエイトを取り付けます。

MODE が **両面打込** **スタチック** の場合

ホイールの真上(12時の位置)にウエイトを取り付けます。

再度NEXTスイッチを押せば、IN側のアンバランスポイントに移動します。

- ⑦両方のウエイトを取り付け終わったら、再度測定して000・000表示しGood表示をしたら終了です。

(8)再演算機能

ホイールデーターを間違えて入力して測定した場合、再度タイヤを回して測定しなくても再演算機能を使えば正しいグラム・位相を求める事ができます。

測定終了後、正しいホイールデーターを入力して(⇔)スイッチを押し(SET)スイッチを押せば、正しいグラム・位相の表示になります。

(9)表示の切り替え

IN側のグラム表示とリム径表示が兼用になっています。またOUT側のグラム表示とリム幅表示が兼用になっています。

リム径またはリム幅の表示状態で(⇔)スイッチを押し(SET)スイッチを押すとグラム表示に変わります。測定を行うと必ずグラム表示になります。

(10)ロック解除の方法

バランス測定後、自動的にアンバランス位置でロックがかかります。ロックするのは約20秒間ロックして、その後解除されます。再度(LOCK)スイッチを押すことにより、アンバランス位置でロックされます。また、ロック中に(LOCK)スイッチを押すとロック解除します。

(11)FINEモード

電源を入れたときはグラム表示は5g単位になっています。

(FINE)スイッチを押すと、1g単位表示にかわります。

再度(FINE)スイッチを押すと、5g単位表示になります。

(12)アダプターキャンセル機能

4LスペーサーやMCアダプターを使用する場合、取り付け誤差を取り除く機能としてアダプターキャンセルが付いています。使用するスペーサー等をバランサーに固定します。

[S P] スwitchを押し表示が[F-0]と表示します。次に[SET] スwitchを押します。

[START] スwitchを2回押し測定が終了すると、取り付け誤差が一時的除かれます。

電源を切るとアダプターキャンセルは解除されます。

(13)クローズスタート仕様(オプション仕様)

ホイールガードを完全に閉めると自動的にバランス測定を開始します。また、回転中にホイールガードを開けると回転が停止します。

(14)インターロック仕様(オプション仕様)

ホイールガードを完全に閉めなければ、スタートボタンを押しても回転しません。

また、回転中にホイールガードを開けると回転が停止します。

6.標準付属品・オプション部品

●標準付属品

- ① 10穴コーン
- ② 8穴コーン
- ③ C.Oスペーサー
- ④ 10穴フランジ
- ⑤ 10穴センターリングハブ
- ⑥ キャップボルトM12×25－3本
- ⑦ 小テーパ－座金－5個
- ⑧ M20ボルト（L）－5本
- ⑨ ウイングナット
- ⑩ タイヤパス
- ⑪ ウェイトプライヤー
- ⑫ アンカーボルト
- ⑬ 取扱説明書
- ⑭ 保証書

●オプション部品

- ① LTコーン
- ② PCセット【コーン（S・M・L・LL）・カップ・バックスプリング・
カラー（C1・C2）・タイヤパス・ワンタッチナット）】
- ③ ワンタッチナット
- ④ 缶ホルダー

7. 定期点検

(1) 定期点検

期 間	点検箇所	点検項目	点検要領
3ヶ月毎	先端軸	緩み	増し締めをする

(2) 消耗品

次の部品は使用頻度(損傷・摩耗状態)により新品と交換してください。

品 名	部品番号	販売単位	備 考
カップのゴム		1	1 / 1 台
ベルト		1	1 / 1 台

8. 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合がある場合は弊社、もしくはお買上げ販売店にご相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	お客様のブレーカーのヒューズが切れている	ヒューズを交換する
電源が入るけれどもホイールが回転しない	お客様のブレーカーのヒューズのうち1本が切れている	ヒューズを交換する
他のホイールのバランスは修正出来るけれども、そのホイールだけが修正出来ない	タイヤの中に異物、水などが入っている	異物、水などを取り除く

その他の症状について

(1) バランス修正ミス

(イン・アウトの修正位置が逆になっている。修正位置が間違っていないか)

(2) 1回でOKしない場合

アンバランス量が大きい場合(300gを越えるような場合)

若干の測定誤差とウエイト量の誤差、及びウエイトの取り付け位置のそれぞれによって、1回でOKしない場合が出てきます。故障ではありません。

(1)自己較正

- 自己較正はバランス修正が日常の使用でタイヤ・ホイールバランスが良好でない時に実施してください。
- TBモードとC.OモードとPCモードを別々に行ってください。

TBモード 操作手順

- ①TBホイールをバランサーに取り付けてください。
 - ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー 】とでたらスタートスイッチを離してください。
 - ③リム径入力スイッチ()を押してください。IN側表示が【Pー 1】となります。
 - ④ホイール切替スイッチでTBモードにします。
 - ⑤通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力してください。
 - ⑥スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【300】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に300gウエイト1個を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
 - ⑦回転が止まったらOUT側表示に【300】と表示されます。IN側の300gウエイト1個を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に300gウエイト1個を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
- 回転が止まったら自己較正は完了です。
(操作が間違っていなければバランサーの精度は正確に較正されます。)



注 意

OUT側に300gを取り付ける時は正確に取り付けてください

C.Oモード 操作手順

- ①C.Oホイールをバランサーに取り付けてください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー 】とでたらスタートスイッチを離してください。
- ③リム径入力スイッチ()を押してください。IN側表示が【Pー 1】となります。
- ④ホイール切替スイッチでC.Oモードにします。
- ⑤通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力してください。
- ⑥スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【300】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に300gウエイト1個を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。

- ⑦回転が止まったらOUT側表示に【300】と表示されます。IN側の300gウエイト1個を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に300gウエイト1個を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。

回転が止まったら自己較正は完了です。

(操作が間違っていなければバランスの精度は正確に較正されます。)



注 意

OUT側に300gを取り付ける時は正確に取り付けてください

PCモード 操作手順

- ①PCホイールのスチールホイールを balanser に取り付けてください。
 - ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー】とでたらスタートスイッチを離してください。
 - ③リム径入力スイッチ()を押してください。IN側表示が【Pー1】となります。
 - ④ホイール切替スイッチでPCモードにします。
 - ⑤通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力してください。
 - ⑥スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【100】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50gウエイト2個を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
 - ⑦回転が止まったらOUT側表示に【100】と表示されます。IN側の50gウエイト2個を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50gウエイト2個を取付けてください。ウエイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
- 回転が止まったら自己較正は完了です。
- (操作が間違っていなければバランスの精度は正確に較正されます。)



注 意

OUT側に100gを取り付ける時は正確に取り付けてください

(2)軸アンバランス較正

- ホイールなど何も付けずにバランスを回転させて測定したときにアンバランスが表示される時は取付け誤差の原因となりますので次の方法で修正してください。
- TBモードとC.OモードとPCモードを別々に行ってください。

TBモード 操作手順

- ①バランスにはホイール・タイヤなど、何も取り付けしないでください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー 】とでたらスタートスイッチを離してください。
- ③リム幅入力スイッチ()を押してください。IN側表示が【P-2】となります。
- ④ホイール切替スイッチでTBモードにします。
- ⑤OUT側表示が【001】と表示されます。
- ⑥スタートスイッチを押して回転させてください。
- ⑦回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑧再度スタートスイッチを押して回転させてください。回転が停止したら軸アンバランス較正は完了です。

C.Oモード 操作手順

- ①バランスにはホイール・タイヤなど、何も取り付けしないでください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー 】とでたらスタートスイッチを離してください。
- ③リム幅入力スイッチ()を押してください。IN側表示が【P-2】となります。
- ④ホイール切替スイッチでC.Oモードにします。
- ⑤OUT側表示が【001】と表示されます。
- ⑥スタートスイッチを押して回転させてください。
- ⑦回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑧再度スタートスイッチを押して回転させてください。回転が停止したら軸アンバランス較正は完了です。

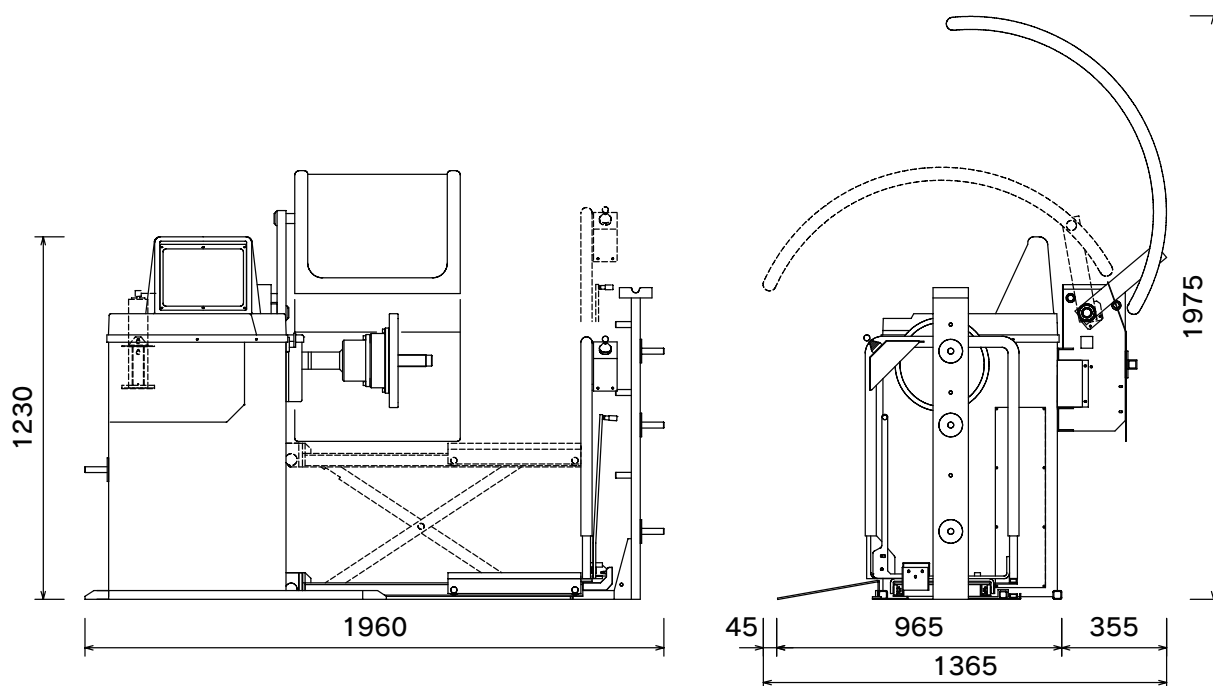
PCモード 操作手順

- ①バランスにはホイール・タイヤなど、何も取り付けしないでください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【Pー 】とでたらスタートスイッチを離してください。
- ③リム幅入力スイッチ()を押してください。IN側表示が【P-2】となります。
- ④ホイール切替スイッチでPCモードにします。
- ⑤OUT側表示が【001】と表示されます。
- ⑥スタートスイッチを押して回転させてください。
- ⑦回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑧再度スタートスイッチを押して回転させてください。回転が停止したら軸アンバランス較正は完了です。

9. 仕様・本体寸法

型 式	TBm-250
電 源	3相 200V
モ ー タ ー	バランサー: 0.15kW8P
	リフト: 0.2kW
測 定 回 転 数	TB/C.Oモード: 約90rpm (50/60Hz) PCモード: 約110rpm (50/60Hz)
測 定 方 式	ハードタイプ両面同時測定
適 応 リ ム 径	10" ~ 30"
適 応 リ ム 幅	2" ~ 20"
自動入力システム	リム径・リム幅 (アルミ) ・ディスタンス 10" ~ 26"
最 大 測 定 重 量	250kg
最 大 タ イ ヤ 外 径	1200mm
測 定 範 囲 g	0~500g
本 体 重 量	約340kg

ブレーカー容量: 5A (3相200V)



10. 製品保証規定

(1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後1年以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し、二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証致しません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した事故及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 etc）。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

**このホイールバランスは屋外設置及び防水仕様にはなっておりませんので、
錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

(2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上げの販売会社にご一報ください。
必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の8項目の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理致します。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせください。 型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社名 担当者
	住所 電 話
設 置 業 者	社名 担当者
	住所 電 話
故 障 日・状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上の販売会社へ依頼してください。

移設の場合は、販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 **ホイールバランサー**

型 式 **TBm-250**

初版発行月日	令和3年2月15日
--------	-----------

改訂発行月日	令和7年8月1日
--------	----------

改訂発行月日	年 月 日
--------	-------------

改訂発行月日	年 月 日
--------	-------------

改訂発行月日	年 月 日
--------	-------------

編集兼発行者	小野谷機工株式会社
--------	-----------

無断複写・掲載を禁ず



ONODANI 小野谷機工株式会社



本社／ 福井県越前市家久町63-1 ☎0778-22-2124

札幌営業所	☎011-791-8588	仙台営業所	☎022-255-7408	秋田営業所	☎018-800-2556
東京営業所	☎03-5970-6011	新潟営業所	☎025-281-8251	名古屋営業所	☎052-354-1021
福井営業所	☎0778-21-0335	大阪営業所	☎072-337-5056	広島営業所	☎082-573-5012
四国駐在	☎082-573-5012	福岡営業所	☎092-582-6743	沖縄駐在	☎092-582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。